

道徳教育研究部

【平成24年3月現在】

主任 山内 実

部員 渡部由美子

研究主題

よりよく生きる力を育む道徳教育
～思考力・判断力、表現力を重視した授業づくり～

子ども像

道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深める子ども

研究目標

道徳の時間において、思考力・判断力、表現力を重視した授業を通して、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深めることによって、よりよく生きる力を育むことができる。

研究仮説

よりよく生きる力を育むためには、道徳的価値を基に行為のあり方を考えたり（思考力）判断したり（判断力）し、思考、判断したことを自分の言葉で表現する力（表現力）を高めることによって、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深めさせることが大切である。

主題設定の理由

本校教育目標の一つに、「豊かな心」の育成がある。豊かな心を育む道徳教育は、道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通して行うものである。そこで、本部会では、道徳的実践力を育成するため、要となる道徳の時間の充実を図ることを目指している。

一年次の研究では、中心的な発問に対して出された子どもたちの多様な感じ方や考え方をそのまま終わらせず、道徳的価値の分類を活用することにより、道徳的価値を自分のこととして深く感じたり考えたりすることで、価値の自覚を深めることができるようになってきた。しかし、自己の生き方についての考えを深めさせるまでには至らなかった。

そこで二年次では、思考力・判断力、表現力を重視した授業づくりによって、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深められる子どもを育てたいと考えた。そのためには、道徳的価値を自分とのかかわりでしっかりと考えさせるような指導の工夫が必要である。特に、学習指導要領改訂の要点の一つである「自己の生き方についての考えを深める」と深く関係してくる教師の発問の工夫について研究を深めたいと考えた。

こうした現状を受け、道徳教育の一層の充実を図り、要となる道徳の時間を充実させ、道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深めさせることが道徳的実践力の育成につながり、本校児童に「よりよく生きる力」を育むことができると考え、本主題を設定した。

道徳における思考力・判断力、表現力

本校では、道徳の時間において子どもたちの道徳的実践力を育てるため、思考力・判断力・表現力を重視した授業づくりに取り組んでいる。これらの力を本部会では、下記のとらえている。

思考力・判断力...道徳的価値を基に行為のあり方を考えたり判断したりする力
表現力...思考、判断したことを自分の言葉で表現する力

研究内容

思考力・判断力、表現力を重視した授業づくり
ねらいとする道徳的価値の自覚及び自己の生き方についての考えを深めるための発問

研究方法

については「思考力・判断力、表現力」、については「発問の工夫」に焦点を当てた授業実践やその分析を通して明らかにしていく。